

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和4年度 第1回総合教育会議
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和4年5月12日(木) 14時45分～15時45分
開催場所		教育委員会室(本庁舎8階)
案件		1. 令和4年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点施策について
公開の可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高野区長、金子教育長、樋口教育長職務代理者、村瀬委員、大澤委員、酒井委員
	事務局	政策経営部長、教育部長、企画課長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、統括指導主事 企画課担当、庶務課担当

○企画課長

これより令和4年度 第1回豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。
本日の傍聴者は0人です。

はじめに、今年度初めての会議でございますので、総合教育会議の委員並びに事務局職員をご紹介します。なお、関根憲一統括指導主事は、本日欠席でございます。

<委員を順次紹介>

○企画課長

それでは、まず、高野区長にご挨拶いただき、その後の議事進行につきましては、高野区長にお願いいたします。

○高野区長

大変お忙しい中、各委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、会議へご出席を賜り、誠にありがとうございます。

冒頭にお詫びを申し上げたいと思います。本来3月25日に第1回の総合教育会議を開催する予定でしたが、3月25日に政治資金関係の件で、結果的に職員2名の略式起訴、さらには議員2名が辞職をするという大きな事件がありました。

私は直ちに、記者会見を開き、事件の全貌をお話しすることになり、その記者会見が総合教育会議の予定時刻と同時刻であったことから、急遽延期をさせていただいたこと、お詫びを申し上げます。この件もまだまだ終わっておりませんが、すべてを明らかにしたうえで、それらの反省の上に立って、これからも行政をしっかりと進めてまいりたいと思っております。

それでは、冒頭にこのような報告をして恐縮ですが、総合教育会議の開催にあたって、お話をさせていただきたいと思います。

教育委員の皆様におかれましては、日頃から児童生徒が安全・安心に学校生活を送れるよう、豊島区の教育の中心的役割を担っていただき、教育としまの推進に様々なアドバイスやご支援をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の猛威はまだまだ終息をしておりません。本日も53回目のコロナ対策会議を開催し、今後の対応の協議をいたしました。

こうした、誰もが経験したことがない「100年に1度の災禍」と言われる事態の中、私は、常に「学びを止めない」、教育環境の整備、そして、先の見えない状況下において、子供たちを育むための日々の教育の重要性について、あらためて認識したところであります。

学校における新しい生活様式を踏まえまして、最大の知恵と工夫を用いて、児童・生徒が安心・安全な学校生活を送れるようご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、豊島区が全国の自治体に先駆けて、全生徒・児童に配布をしたタブレットPCは自宅待機となった際の児童・生徒へのオンライン対応のほか、不登校など課題を抱える児童・生徒への心のケアにも活用し、一人ひとりの学習意欲の向上につながっております。

また、子供たちにとって、一生に一度のかけがえのない貴重な思い出となる移動教室・修学旅行は、全ての学校の実施が完了していると金子教育長から伺っております。私としても、何としても実施を叶えてあげたいと思っていただけに、学校と教育委員会との連携により、日程調整や万全な感染対策を講じて実施していただいたことに、感謝申し上げます。

そして昨年度、教育委員会はSDGs達成の担い手育成事業を立ち上げ、子供達のSDGsの取り組みへ積極的に支援をしております。私はこの取り組みの主役は子供達であると考えており、さらに保護者や地域の方々、大学・企業にご協力をいただきながら、SDGsの取り組みを着実に進め、学校と地域との信頼関係はより強固となり、そして将来的にはすべての学校にコミュニティ・スクールが導入されることで、地域と共にある学校としてモデルケースになるのではないかと考えています。

いよいよ本年8月には池袋第一小学校が竣工となります。区内の小学校で初となる5階建ての校舎で、「森の中の学校」をコンセプトに、森を作って、その中に学校を作るという構想を考えており、素晴らしい環境づくりができるのではないかと考えています。特に自然と触れ合える環境や防災設備を充実させ、地域のシンボルとなる「SDGs未来都市」にふさわしい学校として、大きな期待が寄せられるのではないかと考えています。

次の改築校である千川中学校も改築計画に基づき柔軟かつ迅速な改築・改修を進めることに努め、子供達の学びの環境を着実に向上させていきたいと考えています。

私は、千川中学校の改築は学校だけの活用ではなく、商業地域であり、高層化もできることから、土地の有効利用も視野に入れて、千川中学校周辺のまちづくりも考えていかななくてはならないと思っています。

先日、私は、4社のプロポーザルにオブザーバーとして参加し、全社のプレゼンを見させていただきました。提案も拝見し、最終的には1社に絞られたわけですが、これからは学校の改築と同時に、学校が地域のシンボルであり、まちづくりになるよう、さらなる検討をしていかなければならないと思っています。

昨日は、池袋駅周辺の都市再生委員会が開催されました。池袋のまちを中心として大改革が非常に短期間の間に行われ、池袋の変貌ぶりには皆さん驚かれたことかと思えます。それは消滅可能性都市から持続発展都市への転換ということです。私は消滅可能性都市に甘んじていては、次の世代、さらに先の先まで豊島区は消滅可能性都市というレッテルを引きずっていかなくてはならない、これは大きな転換点であり、ピンチがチャンスになると思い、まちづくりを集中的に進めてまいりました。そして、池袋だけではなく、豊島区全体を大きく変えていくにあたって、学校の改築というのは地域のシンボルであると同時に、豊島区のまちづくりの中心的な役割を担っているのではないかとと思っています。

こういった面も含めて、教育委員会と共に、豊島区全体のまちづくりにおいて、一緒に力を合わせて、まちを変えていかなくてはいけない、池袋だけが良くなればいい、というわけでは決してないと思っています。今までの実績の中でも学校改築によって周辺のまちが変わってきたと思っています。

そういった思いも込めて、これからも学校改築は、まちづくりを進めていく中でも重要であると位置づけていきたいと思っています。

さて、この総合教育会議は、区長部局と教育委員会が教育施策に関して協議・調整をする場として、「教育都市としま」の実現に向けて、これまでも様々な議論を交わしてまいりました。

厳しい情勢の中ではありますが、次世代を担う子供たちが、変化の激しい21世紀をたくましく生き抜くことができるよう、区長部局と教育委員会がこれまで以上に連携し施策の充実を図っていくことが大切であると考えております。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

では、本日の議題は、

「令和4年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点施策について」
でございます。

教育委員会における重点施策を担当の課長から説明いたしまして、その後に教育委員の皆様からお一人ずつご意見を頂ければと存じますので、よろしくお願いたします。

では、令和4年度の重点施策について、学務課長から順番にお願いします。

○各課長

それでは「令和4年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点施策」につきましてご説明いたします。 ※各項目は（）内の各課長より説明

- ・感染症対策／コロナ禍での移動教室等の実施（学務課長）
- ・オンラインによる学習支援（指導課長）
- ・SDGs 達成の担い手育成事業について（教育施策推進担当課長）
- ・千川中学校の改築工事について（学校施設課長）
- ・児童・生徒の様子についての動画上映
 - ◇移動教室（千歳橋中）
 - ◇タブレット活用について（巣鴨小学校・駒込中学校）
 - ◇SDGs の取り組みについて（椎名町小学校・朋有小学校）

○高野区長

ありがとうございました。議題の資料説明が終わりました。

教育委員の皆様から、それぞれのご意見を頂きたいと思います。まず、大澤委員から願いたします。

○大澤委員

高野区長を始め区長部局の職員の方たちには、コロナ禍で子供たちが大変な状況にある中、多大なる予算をいただきまして感謝しております。

まだまだコロナがどのように収束するのか、分からない状況で、全国的には感染者数が少し増えているような状況ですから、これからも油断せずに進めてきたいと思っております。

○高野区長

ありがとうございました。

続きまして、村瀬委員より願いたします。

○村瀬委員

このような機会をいただけて、とてもありがたく思っています。

日頃から豊島区の子供たちのために色々なチャンスをいただいていると思っており、他区では修学旅行のキャンセルがあった中、豊島区は全校で移動教室と修学旅行をできたということは、キャンセル料等を負担していただけたからこそではないかと思っています。また、このコロナ禍の中で出発直前まで日程を変更せず、じっと状況を見据えたことで、全校開催できたのではないかと私は思っています。保護者の中には金銭面で難しいという方やコロナが不安だという方もいらっしゃいますが、保護者が納得する形で宿泊行事ができたのは豊島区のバックアップがあったからだと感じています。

豊島区はどこの区よりも早くICT学習に力を入れてくださっていますが、ICT学習では、大型スクリーンで前に映しださないと分かりにくいので、一部のクラスにないという今の状況はありえないというか、豊島区がICT学習の最先端であると言いたいので、サポートしていただけると嬉しいと思います。

SDGs 達成の担い手事業について、力を入れているだけあって、先日の発表会を拝見した際に、子供達から地域の人とSDGsを進めていこうという強いメッセージを感じてとても心強く思っています。

去年はSDGs 未来都市に選ばれたからということもあり、予算をいただきましたが、SDGsの持続可能性という側面からも続けていくことに意味があるので、大きい予算でなくてもいいので、子供達が続けられるような予算をつけていただけると嬉しく思います。そして、地域の方・企業とオールとしまでやっていこうということで、学校・地域で基盤を作りながら続けていけたら素晴らしいと思います。

先ほど高野区長より、地域のシンボルとしての学校というお話があり、豊島区には素晴らしい学校が沢山あるのですが、高南地域については少し遅れているかと個人的には思っています。高南地域は水害の地域でもありますので、手厚く考えて頂ければ区民が嬉しいのではと思っています。以上です。

○高野区長

ありがとうございました。

続きまして、酒井委員よりお願いいたします。

○酒井委員

まず、コロナ禍が2年以上続いておりますが、その中で学びを止めないということで、早々に端末を配っていただけて本当にありがたいと思っています。

また、SDGs 達成の担い手育成事業について多大な予算をいただき、今、各学校で地域の特色ある学校づくりをしています。それをご支援いただきありがとうございます。

それでは、私からは4点お話しさせていただきます。

まず1点目がICTについて、端末は早々に配布していただいた一方で、授業で活用するためには、教室の前に大型の掲示装置が必要で、日進月歩で随時の更新が必要となる機器であるため継続的なご支援を賜りたいです。

2点目が千川中学校の改築について、素晴らしい学校になるのではないかと考えています。私は様々な自治体の学校に伺う機会がありますが、豊島区の学校はよく考えられていると感じています。地域の学校であるとともに、子供達の学びやすさ・居場所としての過ごしやすさ・先生方の働きやすさについて、工夫をされていると考えています。ぜひ千川中学校もそうしたところで素晴らしい学校にしていだければと思います。

3点目がSDGsに関係する部分で、インクルーシブ教育について。今年度から特別支援教育の推進計画が策定されて、これまでも豊島区は特別支援教育に力を入れてきていますが、それがさらに進むということです。ここ10年くらいで、何らかの障害を持っているお子さんが非常に増えています。特別支援学級や通常学級の中にも色々なお子さんが増えている中で、学級運営補助員という学級の中にいる補助員の方が大変助けになっていますので、こちらについても、ご配慮いただきたいです。

最後4点目が認定子ども園について、区立幼稚園の入園者数が非常に少ない状況が続いています。なんとかそれを活性化するために、認定子ども園化を考えていますが、一刻も早く認定子ども園化して欲しいです。地域の拠点となりうる施設でもあるので、ご支援を賜りたいです。

○豊島区長

ありがとうございました。

それでは、樋口委員お願いします。

○樋口委員

私からは3点お話をさせていただきます。

1点目が引き続きのコロナ禍での学校教育という視点からです。コロナ禍において学校教育の質の維持・向上ができたことは、教育委員会事務局の努力による

ところが大変大きいと思っており、事務局の皆様にご挨拶を申し上げたいと思っています。そして、学校、教職員、PTA、地域の方といった、それぞれの方々が、それぞれの役割の中で子供たちの学びを継続させてくださったと思っており、御礼を申し上げます。そして最後になってしまいましたが、高野区長を始めとした区長部局の皆様のご支援無くしてはこの話は語れないと思っております。ありがとうございました。

さて、今年度も引き続きのコロナ禍対応をしていかねばならない中で、オンラインの学習支援について、私は、紙の教科書が無くなって欲しくないという思いがある一方で、デジタル教科書が今後どのような形で広がっていくのか、関心があります。

今年度は文科省が英語のデジタル教科書を配布する事業を行っておりますが、文科省の事業が無くなったときに、各自治体でどうやってデジタル教科書を広げていくのか、大層予算の必要な話ですので、一度に、ということではなく、長期的な議論も必要になっていくのではないかと考えております。

また、昨年度もお話しさしあげた内容ではあるのですが、学校図書館の学校司書の配置日数が増えたいと思っています。昨年度も高野区長にご理解をいただけて嬉しかったところがございます。今年度、地域図書館と学校とのモデル事業が始まるというお話も伺いました。これもまさに区長部局と教育委員会の連携のひとつであろうと考えておまして、高野区長が良くおっしゃっている、中心となっている図書館、情操教育はもとより、子供達の思考力・判断力・表現力を高めるために、学校司書のアドバイスを教職員や子供たちに広げていきたいと思っています。

コロナ禍での学校教育という視点からは以上です。

2点目がSDGsの取り組みについてです。高野区長が子供達は未来の豊島区の担い手であるとの言葉から、様々な事業を学校にもということで、大変な予算をつけていただきました。2030年が一応のゴールではありますが、今後学校が習慣化していくようになるといいかと思っています。

またSDGsというのは自身も含めて、今の大人達がどう自分事として捉えていくのかが重要なのだろうとも思っています。そして、次代を担う子供達がそう考える大人になって欲しいと願っているところでございます。

3点目が学校改築とまちづくりについてです。

区長の冒頭のごあいさつで「学校改築で周辺のまちが変わる」というコンセプト

トで考えてくださっていて、その一つの表れとして、池袋第一小学校は森の中の学校というお話がありました。森が少ない大都会の豊島区において、森の中というのは新しい発想だと私は思います。そう考えたときに、新しく学校を改築していただけるなら、教育委員会としては、従前の学校の良さを維持しつつ、もっとフレキシブルな学校のコンセプトを私たちも協議して提案していけたらと思います。

先ほどのお話を伺いながら、これからの学校がどうあったらいいのかと私も構想を立てたいと思っているところでありますが、新しい発想の中でこれからの学校の改築に一翼を担えたらと思っています。

最後に持続可能でだれひとり取り残さない支援を今後とも子供たちのためにいただけたら嬉しく思います。

○高野区長

ありがとうございました。教育委員の皆様から、様々なご意見をいただきました。限られた時間で恐縮でございます。

最後に金子教育長からこれまでの議論を踏まえて、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

○金子教育長

普段から教育委員の皆様と非常に深い議論をさせていただいており、これまでコロナ禍でも何とか運営してこられたと、改めて、振り返りながら思っております。非常に子供達のためになることを深く考えていただいて、今日も予算要望的なことも入ってございましたけども、大変ありがたいことだとお聞きしました。

まとめということではないですが、せっかくの機会ですので、お話しさせていただきます。連日、様々な方々から、我々のやっていることや区長部局から応援をいただいていることについて、沢山お褒めの言葉をいただいています。

例えば、昨日 ICT 支援員の方からは他区と比較して豊島区の取り組みが早かったこと、教員の水準も非常に高いとお褒めの言葉をいただき、嬉しいと思えました。

また、学校回りを昨日から始めていますが、中学校の校長先生とお話をした際には全員にタブレットが配られたことが本当にありがたいと言われました。色々なご家庭があり、貧富の差もある、そのような中で、全く差がなくすべての子に同じような教育環境が与えられていることが素晴らしいと。その先生は前々から GIGA スクール構想について考えていたようで、コロナ禍の対応で一気に環境が進んだことがありがたいと言っていました。

SDGs の関係では、なるべく先生の負担を増やしたくないと思い、周りの大人たち、地域、企業、大学の先生たちなどが学校を応援してくれるといいなと考えていました。そのために何かお金をうまく使ってほしいと各校に伝えており、皆さんうまく使ってくれました。

今まで、良くも悪くも地域の方が、学校に何も言わない地域があり、子供達の体験などをするにあたって、関わり方を悩んでいる学校がありました。そこで今回、企業にあたってみようということで、株式会社良品計画様にお声がけしたところ、学校に対して何を貢献できるかという視点ですごく考えてくださって、いくつもプログラムを組んでくださった。株式会社良品計画様も自分たちの SDGs として、成功した際には全国展開したいということでとても盛り上がっています。ゆくゆくはこの活動に地域の大人たちも巻き込むことができれば地域の活性化や PTA の活性化にもつながるのではないかと考えていますし、こういった成果が出たのは、全校一斉にやりましょうとお声がけいただいたおかげだと思っています。

最後、学校改築についてですが、経緯については色々ありますが、改めまして、最後に作る学校はこれまでよりも一番よい学校、良い複合化という視点を忘れずに、やっていきたいと思っています。

○豊島区長

皆様方から、貴重なご意見を賜りました。

次年度も、教育ビジョンの重点を踏まえたうえで、新型コロナウイルス感染症拡大に留意しつつ、児童・生徒の学びを止めることのないよう、今後も区長部局と教育委員会が連携を図りながら、「教育都市としま」の実現に向けて、共に頑張っていきたいと思っています。私の方から何点か区長部局としての取り組みについてお話をしたいと思います。

まず大型スクリーン改修についてはどういう対応をしていますか。

○庶務課長

今、補正予算として、改修費用を要望中です。

○豊島区長

予算要求をしているとのことなので、今後進めていきましょう

それから SDGs の件ですけれど、行政の日頃やっていることがすべて SDGs

につながるという視点から申請を行って、SDGs 未来都市と自治体 SDGs モデルという東京都初のダブル受賞し、取り組みを評価してもらえました。SDGs は次世代に向けての取り組みですから、中心はやはり子供であって、次の世代を背負って立つ人たちのためのものであると思っています。そこで教育委員会が SDGs のきっかけを作ってくれば、最大の効果があるのではないかとということで、昨年、急遽予算をつけました。

教育委員会は大変だったかと思いますが、各校が頑張って取り組みを行ってくれて、この間 SDGs フェスティバルがありました。私はこの取り組みは良い取り組みだと思いますので、現場は大変だと思いますが、子供達が地域・保護者・行政を巻き込んで進めてもらえればと思っています。

学校改築についてですが、学校は地域のシンボルであり、拠点であると考えています。財政が非常に厳しいときに、児童館もことぶきの家も出張所も廃止して、小学校区に合わせて地域区民ひろばという、機能を複合した世代を超えて交流できる場を作りました。学校単位で地域区民ひろばを作ったのですから、地域区民ひろばと同時に学校が地域のシンボルとなる、そういった思いでまちづくりを進めていけば、豊島区全体のまちづくりがレベルアップしていくのではないかと考えています。

私は学校改築については自分の思いの丈をぶつけて、もっといいものになるのではないかと進めてきました。先ほど金子教育長から新しくできる学校が一番良いものを、その次の学校はさらに最高なものをという話がありましたが、そういう気持ちをもって取り組んでいきたいと思っています。教育委員会だけではなく、先ほど樋口委員が言われたように、色々な形の中で価値あるものにしていき、学校は学校としてしっかりしたものを作るとともに、複合施設については予算を別で取ったうえで、決して学校の改築がマイナスにならないようにということも考えていきたいと思っています。

いずれにせよコロナ禍という中で、教育委員会に素晴らしい取り組みをしてもらっていると思います。

最後に、豊島区ではコロナ感染を何としても終息をさせるべく、豊島区方式をとって、ワクチン接種の取組を行ってきました。現在の問題として、5歳から11歳までのお子さんの接種率が低い状況があります。ワクチン接種によって、感染した際に重症化を防ぐことができるということもあるため、教育委員会のご意見を十分に聞いて、コロナ禍という危機を乗り切るべく、区長部局と教育委員会で連携を密にしながら進めてまいりたいと思います。

それでは、令和4年度第1回総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。